

【山梨経済同友会】第2回女性にプラス！パートナー会議 参加報告

2024年9月24日
一般社団法人山梨県情報通信業協会
ダイバーシティプロジェクト

YSA会員企業のエクシオグループ株式会社 坂井英子甲信支店長が部会長をされています山梨経済同友会の第2回女性にプラス！パートナー会議に、今回特別に参加の機会をいただくことができました。

特別なお取り計らいをいただきました山梨経済同友会の方々に、心より御礼申し上げます。

当日の様子とダイバーシティプロジェクトメンバの感想を掲載いたします。

開催日

2024年9月9日（月）

開催場所

シャトレゼホテル談露館 2F山脈

第2回女性にプラス！パートナー会議の様子

第2回女性にプラス！パートナー会議は、山梨県内の産官学からオンラインも含め80名ほどの多種多様な方々がご参加されました。会場内がほぼほぼ女性で埋め尽くされ、会の開始を今か今かと期待する雰囲気を感じられました。

第1部では、『～女性が自分らしく、いきいきと働くために～』のテーマのもと、パネリストとして山梨県多様性社会・人材活躍推進局 入倉次長、株式会社 シャトレゼHD 齊藤貴子代表取締役社長、豊前医科株式会社 豊前貴子代表取締役社長、株式会社ドコモCS 宮崎山梨支店長が登壇され、ファシリテーターとして、YSA会員企業のエクシオグループ株式会社 坂井甲信支店長が登壇されました。

第2部では、テーブル毎に男性のファシリテーターが1人付き、パネルディスカッションの感想や自分らしくいきいきと働くためにはといった内容でディスカッションを行いました。

会終了後に直ぐに会場をあとにする方がいらっしゃらず、参加の方々のまだまだこの場（この時間）を共有したいという気持ちを感じ取れました。

パネルディスカッションでは
山梨で活躍される女性経営者や支店長にキャリアアップの帰路におけるリアルな声が聞けました。
人間性あふれる内容が、スーッと自分の脳に刻み込まれた気がしました。

グループディスカッションでは、異業種で働く方とお話しする中で
普段、仕事で感じる不安や嫌悪感をどのように対処し気持ちを高めていくか、
整理整頓できたように思います。

- ・女性の強み（思いやり、気遣い、気づき）、女性らしさを忘れない。
- ・異性と勝負しようと思わない、私は私。
- ・後悔しないように一生懸命
- ・自分強みを生かすことで自信につながり、
意識の変化が生まれてくる。そして行動につながる。
- ・がむしゃらではなく、よい距離感
- ・限界を自分で決めない。
- ・やる気スイッチ ON OFF
- ・チャンスがきたらしっかりつかむ。

何かに悩んだら、会議で出会った皆さんの笑顔を思い出し、前に進みたいと思いました。

今回私が一番に感じた事はどのような役職や地位についている方もやはり一人の女性さらには人間なのだなと感じました。会社のトップの方はどうしても遠い存在に感じてしまいがちですが今回それが良い意味で身近に感じる事ができました。

出来ない事は出来ないから出来る人をお願いするなどのSOSの出し方をトップの方々もしていると思うと私みたいな時短社員もSOSが出しやすいと感じました。

ドコモCS山梨支店長の宮崎様の性別の差のところで「平等ではなく公平」という言葉も大変心に残りました。やはり男女を平等にすることはどうしても難しいので公平を保つことを意識する事できつといつか男女の差は埋まるのではないかと思いました。

グループディスカッションでは社内で話をすると愚痴になってしまうような話も社外の方と話しをしたり聞いたりすると新しい気づきになるのだと感じました。女性が少ない職場で働いていると女性の意見はどうしても少数派になってしまいがちで「自分が間違ってるのかも？」と感じてしまう事があるので、そのような疎外感を感じさせないような仕組みや体制作りさらに今回のような社外の方との交流会があれば変わるのではないかと感じました。

今回は大変有意義な時間を過ごさせていただきました。自分にとって確実にプラス！になる時間でした。また機会がありましたら是非参加させていただきたいです。

■第1部 パネルディスカッション

県内でご活躍されている方々の包み隠さない生のお話を聞くことができ、同じ女性としてはもちろんのこと、雲の上と思っていた方々を近くに感じると共に素敵なリーダー像にも触れることができました。

私もふとする時に自分だけが取り残され、つまづいているように感じている時がありました。

頼ることができれば楽なのに自分で抱え込んでうまく回らなくなっていることもありました。

自信はないけれど周りの人を巻き込んで、自分の不得意なところはSOSを出し（頑張りすぎないで）周りに助けてもらう。

また、得意なところは活かせるようにまずは私らしさ見つけて、人には負けない強みを持って仕事に取り組みたいと思います。

そしてチャンスがあつたら必ずつかみ取る！

この言葉を大切に楽しく（周りにも伝染できるような）仕事をしたいと思います。

■第2部 グループディスカッション

異業種の方々とはざっくばらんに話すことができとても刺激的な時間でした。皆さんお子さんがいたり、転勤されたり、異動する中で様々な葛藤や心配事もありながら働き方も工夫されていました。

印象的な話では既婚の女性で男性と違うのは転勤の際に周りにお伺いを立てないといけないこと。周りの調整が色々と大変なこと。

転勤の経験はないですが、本当にそうだと思います。

女性の方が様々な障壁があるのだと思ったのと同時に

パネリストの方もおしゃっていたように平等ではなく、公平が浸透する社会が誰しもが働きやすい社会になるのかなと思いました。

貴重な機会を頂きありがとうございました。

山梨経済同友会様主催の「第2回女性にプラス！パートナー会議」に出席させていただきました。

まず最初に、パネリスト・ファシリテーターの皆様が山梨県内の企業・事業所のトップで活躍されていると知り、純粋に“すごいな”と感じました。実際に登壇されているところを拝見し、“山梨県内”というワードから壇上の皆様が身近に感じられて、誇らしく思えました。

パネルディスカッションではパネリストの皆様もいろいろな壁にぶつかり、そこからまた立ち上がってそれぞれのキャリアを築かれてきたという経験談や私たちの今後に向けたお話しをしてくださいました。

- ・自分にしかできないことを大切にしたい
- ・子育てには周りの助けが必要。そんな時は早めにSOSを
- ・不得意を失くす努力より得意を伸ばし、チームとして向上する
- ・目の前のチャンスはつかむ
- ・自分の好きなこと、誇れること、プロフェッショナルなことをやっているか

キャリアアップというと管理職になることがイメージされがちですが、自分の目指す理想・目標に向き合うことが大事だと教えていただきました。管理職を望んでいなくても、自分の仕事を完璧にすること、自分なりの自己実現が大きな戦力になると。確かにその通りだと思いました。また、その成功体験がよりプラスに働き、さらに生き生きと楽しく働くことができる。そんな風に仕事が出来たらとっても素敵だと感じました。

山梨経済同友会の「第2回女性にプラス！パートナー会」にYSAダイバーシティプロジェクトのメンバとして、特別に参加の機会をいただきました。

会が始まる前から本日の会を期待する雰囲気が会場から感じられましたが、パネリストとファシリテーターの方々が登場し、その雰囲気は更に高まりました。これだけの方がパネリストやファシリテーターとして登壇されることは、本当にまずない機会だと思います。

30分という短い時間のパネルディスカッションでしたが、皆が聴き洩らさないようにと真剣に耳を傾けていました。

『（ご自身含む）自分らしさとは』『ジェンダーレス、働きやすさ等有効と思う取り組み』『働くうえで乗り越えてきたこと』『後につづく女性に向けてのメッセージ』等、それぞれの考えや思いをお話しいただきました。

- ・いろいろな人の助けが必要。助けていただいたことに感謝。
- ・得意なことでも不得意なことでも全て自分の特性。その自分の特性を受け入れること。
ひとりがすごくてもうまくいかない。肩肘張らずに。
いろいろな人の強みがあって、会社として成果を出す。
- ・後悔しないように、一生懸命やる。でも、我武者羅にやればよいという訳ではない。
- ・意思決定層に女性が入ることで真の意味になる。女性はスキルアップ／企業はフォローが必要。
- ・会社としても制度、運用面で女性を後押しできるようにし、意識と行動を変える。
- ・平等でなく、公平が必要
- ・女性も覚悟と熱意を持ち、自分で限界を決めない
- ・目の前にチャンスがきたら、掴みなさい
- ・仕事を家業と思いなさい
- ・自分の棚卸をして、自分ごととして考える
- ・自分が世の中にできること（使命）は何か
- ・障壁は内にあった
- ・自分でプロフェッショナルと思える部分を作る
- ・女性は自分に厳しいイメージがある
昇進・出世がゴールではない。自分が生き生きして働いていると思えることが重要
- ・楽しく、笑顔でいられるためにはどうしたらいいか考える etc

(つづく)

(つづき)

常に心に置いておきたいと思えるお言葉をたくさんいただきました。
今は同じ様な立場の方々にもひとつとして同じ道のりはなく、それぞれがそれぞれの境遇や環境であらゆることにひとつひとつ真摯に向き合い、それぞれの道を一步一步歩まれた結果が今となっているのだと思いました。
パネルディスカッションを終えられた後も遠巻きに拝見していましたが、登壇された方々に連帯感のようなものが感じられ、異業種ということもあるのかとても仲が宜しいように感じました。

パネルディスカッション後は、同じテーブルに同席した方々とのグループディスカッションもあり、県内の全く違った業種の方々とパネルディスカッションの感想やそれぞれの職場の雰囲気や環境等を話しました。

各グループごとのグループディスカッションの発表で、同じグループの方が「自分自身がロールモデルになる意識を持つ」と話されていました。
私もその意識と覚悟を持って、でも頑張り過ぎず畏まらず、真摯にひとつひとつのモノゴトに向き合いながら、一步一步進んでいきたいと思いました。

最後に、山梨経済同友会 女性活躍パートナー部会 部会長のエクシオグループ株式会社 坂井甲信支店長、女性活躍パートナー部会の皆様、また関係者の皆様にこのような機会をいただくことができましたことを心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。